

国立研究開発法人水産研究・教育機構  
平成 29 年度 契約監視委員会（第 2 回）議事概要

1. 日 時 平成 29 年 7 月 26 日（水） 14：00～16：00
2. 場 所 クイーンズタワー B 棟 7 階 D 会議室（神奈川県横浜市西区みなとみらい 2-3-3）
3. 出席者  
委員長 細井 和昭 公認会計士  
委 員 蒲池 孝一 公認会計士  
委 員 苑田 浩之 弁護士  
委 員 林 義亮 神奈川新聞社 取締役論説主幹  
委 員 前 章裕 (研) 水産研究・教育機構 監事  
委 員 榎本 一高 (研) 水産研究・教育機構 監事  
(研) 水産研究・教育機構事務局
4. 議題 ①平成 28 年度第 4 四半期の契約実績及び入札等に関するアンケート調査結果  
②公益法人への支出に関する見直し状況  
③平成 28 年度第 4 四半期の契約の抽出案件  
④その他

5. 議事概要

- ・ 議題①平成 28 年度第 4 四半期の契約実績及び入札等に関するアンケート調査結果  
契約実績、競争性のない随意契約及び一者応札・応募の類型別内訳、類型別の平均応札者数及び平均落札率、アンケート調査結果を踏まえた入札改善策などについて資料に基づき説明があった。
- ・ 議題②公益法人への支出に関する見直し状況  
平成 28 年度に締結された公益法人との契約状況について説明があった。
- ・ 議題③平成 28 年度第 4 四半期の契約の抽出案件  
抽出審議案件 10 件の契約の内容について説明があり、それぞれ審議を行った。

「議題③平成 28 年度第 4 四半期の契約の抽出案件」について、抽出審議案件 10 件にかかる主な質疑応答は以下のとおり

(競争性のない随意契約)

【随契 2】蒼鷹丸 減揺水槽装置用制御盤新替業務（中央水産研究所）

○この装置は特殊なもので船舶建造時に納入した業者以外に修理、メンテナンス対応がで

きないということか。

→本装置には企業秘密となる特殊な技術が使われており、メーカーである納入業者はこの情報を公開していない。船舶関係の契約では、こういった事例が多い。

○このような事例が多いのであれば、修理費用、メンテナンス費用の見積金額等には注意を払う必要がある。

また、予定価格算出の資料として定価証明書を手に入れているが、他者で取扱いの無い機器等の定価証明は業者の自己証明であり、価格の担保性が無い。算出根拠とするのであれば、見積書を徴すべきではないか。

→ご指摘を踏まえて検討して参りたい。

#### (競争性のない随意契約)

#### 【随契4】平成28年度水産工学研究所所属漁業調査船たか丸一般修繕追加整備（水産工学研究所）

○一般修繕（ドック整備）の仕様に盛り込まず追加整備に至った理由は何か。

→一般修繕（ドック整備）の入札公告掲載後に当該箇所の整備を行う必要性が生じたものである。一般修繕（ドック整備）終了後に別途修繕を行った場合の上架等諸経費負担及び本船の運航計画等を考慮、検討して追加整備で対応することとした。

○業者からの参考見積を使用しているが、業者の言い値での契約とならないようにする方策を検討してほしい。また、今後は一般修繕（ドック整備）の仕様決定時に同様の整備箇所の漏れ等無いよう確認を徹底してほしい。

→ご指摘を踏まえて、対応に努めて参りたい。

#### (一者応札)

#### 【12】ガス分析計外1点（水産大学校）

特に無し

#### (一者応札)

#### 【13】マイクロ波試料前処理装置（中央水産研究所） 特に無し

#### (一者応札)

#### 【29】こたか丸船用クレーン（瀬戸内海区水産研究所）

○入札参加に必要な競争参加資格を有していなかった業者がいたことが一者応札の要因とあるが、この競争参加資格とはどのような資格なのか。また、すぐに取得できるものか。

→競争参加資格とは、業者から申請書とともに財務情報や経営状況が確認できる書類の提出を受け、当機構の格付け基準に従い、A～D等の等級を付与するものである。申請があれば数日で審査、資格の付与ができるため、今後は資格を取得するための十分な入札公告期間を確保するとともに、資格取得方法の説明を丁寧に行って参りたい

。

(一者応札)

**【47】船舶メールシステム構築及び保守業務（本部契約課）**

○本メールシステムの構築は今回初めて行うのか。

→今回初めて行うものである。従来は農林水産研究情報総合センターの農水省関係研究機関職員メールシステムと船舶メールシステムの2つを利用していたが、後者の船舶メールシステムの運用が終了するため、同システムを当機構内に新設し、これまでどおりの運用が可能になるよう整備を行ったものである。

(一者応札)

**【48】表層・中層トロール網修理（水産大学校）**

○本件の契約業者は、当該トロール網の製作者であるが、そもそも他の業者が参入できる余地はあるのか。

→応札には至らなかったが、参考見積等の価格提示ができる業者もあったため、本件について参入の余地は十分あったと考えている。

仕様の詳細を分かりやすくするよう工夫し、一者応札とならないよう、広く声かけを行う等努力して参りたい。

(一者応募)

**【61】ウェザールーティングシステムサービス提供業務（水産工学研究所）**

特に無し

(一者応募)

**【63】船内情報及び汎用魚探データ集約・通信システムの開発に関する委託研究（水産工学研究所）**

特に無し

(一者応札)

**【64】LED船上灯システム取外し及び船上灯設備原状復帰業務（開発調査センター）**

○複数年契約を用いて、用船開始時の取付業務契約に取外し及び原状復帰も含めた契約としてはどうか。

→翌年度の用船船舶選定等も考慮し、検討して参りたい。

・議題④その他

今回の委員会は平成29年度第1四半期の契約が審議対象になり、開催日は10月下旬を予定していること、8月中に事務局から各委員へ日程調整の連絡を予定していること、それに先立ち、次回の審議案件の抽出を苑田委員に依頼する旨、事務局から連絡があった。

